

<取材のお願い>

2024年9月9日

富山高等専門学校

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

インドの学生が最先端の化学実験を体験 ～富山高専で日本独自の高専教育に触れる～

富山高等専門学校では、9月16日（月）～9月22日（日）、インドのNES ラトナム芸術科学商業大学（以下、ラトナム大学）より化学科の大学生7名、教員5名、計12名を招へいし（うち教員4名は自費による招へい）、「国境を越えた知識・技術・研究の涵養を促す高等教育」をテーマに科学技術体験プログラムを実施します。

1983年に設立されたラトナム大学は、インド屈指の高等教育機関で、国家評価認定評議会（NAAC）によって4回連続で「A」グレードの再認定を受けています。しかし、学内では実験研究を行っていないため、化学科の学生は実験研究について未経験です。一方、受入れ機関である富山高専・物質化学工学科では実験装置や分析機器が充実しており、どの学年でも実験授業をカリキュラムに組み込み、卒業研究も行っています。

本プログラムの目的は、インドの学生が先端的な研究実験を体験することで、日本の高専の研究教育に興味を持ってもらい、今後の交換留学等を含む交流に発展させることです。

具体的には、2日目に富山高専・本郷キャンパス、5日目には同・射水キャンパスの各学科を見学し、本校の成り立ちや各学科の特徴についての説明を受けます。

3、4日目には、本校の物質化学工学科で実験研究を体験します。インドの学生はそれぞれ興味のある実験研究を選び、本校の学生とともに実験を行います。内容は「アスピリンの定量分析」「触媒を使用した水素含有化合物からの水素発生反応と燃料電池の動作」「温度応答性ポリマーの特性と確認」で、いずれも富山高専の学生が行っている実験です。例えば「触媒を使用した水素含有化合物からの水素発生反応と燃料電池の動作」では、ギ酸から触媒によって水素を発生させ、その水素によって燃料電池を作動させます。これは水素社会実現のための最新技術です。なお、4日目の実験後には成果発表会を行います。

また、黒部ダムなどを見学し、日本の技術に対する理解を深める機会も設けました。

本プログラムをきっかけに、インドにおいて日本の高専教育の認知度が高まることが期待できます。さらに、日印の学生が交流することで国際的頭脳循環に繋がります。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログ

ラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、インドと日本の学生が実験を体験する様子、最先端の研究施設を見学する様子、意見交換会の様子、成果発表会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の峰本康正教授（国際教育センター長）へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】 ●学内研究施設見学 ●研究実験体験「アスピリンの定量分析」「触媒を使用した水素含有化合物からの水素発生反応と燃料電池の動作」「温度応答性ポリマーの特性と確認」 ●意見交換会 ●成果発表会 ●黒部ダム見学

【実施場所】 富山高等専門学校（本郷キャンパス、射水キャンパス）、黒部ダムほか

【研修日程概要】

| | |
|----------|--|
| 9月16日（月） | 午前：来日 午後：国立科学博物館、日本科学未来館 見学（東京都） |
| 9月17日（火） | 午前：富山に移動、オリエンテーション（富山高専・本郷キャンパス） 午後：学内および研究施設見学・交流（同上） |
| 9月18日（水） | 午前：物質化学工学科で研究室紹介および 2～3 班に分かれて研究実験体験（富山高専・本郷キャンパス） 午後：物質化学工学科で 2～3 班に分かれて研究実験体験（同上） |
| 9月19日（木） | 午前：物質化学工学科で 2～3 班に分かれて研究実験体験（同上） 午後：研究実験体験、成果発表会（同上） |
| 9月20日（金） | 午前：学内および研究施設見学・交流（富山高専・射水キャンパス） 午後：意見交換会（富山高専・本郷キャンパス） |
| 9月21日（土） | 午前：黒部ダム見学（立山町） 午後：黒部ダム見学（立山町）、東京に移動 |
| 9月22日（日） | 午前：離日 |

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

富山高等専門学校
（担当：総務課 西）

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室
https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form（担当：太田）